

運転免許証の暗証番号について

暗証番号の 必要性	I Cチップに記録されている情報を本人の同意なしに読み取られること（スキミング）を防止するために、暗証番号を設定する必要があります。
暗証番号の 選び方	【暗証番号は、I Cチップ内の情報を保護するため、4桁の数字を二組登録します。】
	○ 暗証番号 1 は、券面記載情報を読み出し
	暗証番号 1 は、券面に記載されている情報しか読み出せないため、券面に記載されている運転免許証番号を利用することが便利です。
	○ 暗証番号 2 は、顔画像と本籍を読み出し
	暗証番号 2 は、顔写真のほか、券面に記載されていない本籍を I Cチップから読み出します。本籍情報は、提供する相手を見極めてから提供できるよう、暗証番号 2 は、本人しか知り得ない秘密番号を設定しましょう。 また、暗証番号 2 は、推測されやすい生年月日、電話番号等から選び出すことを避けるとともに、キャッシュカードやクレジットカードなどの暗証番号とも異なる番号にしましょう。
I Cチップに 記録された 情報の確認	I Cチップに記録されている情報は、運転免許センターなどの警察施設に設置されている読み取り装置を使用して、自由に読み出し確認することが可能です。

○**暗証番号を忘れないよう暗証番号の記録紙を大切に保管しましょう。**

運転免許証の暗証番号は、I Cチップ内のデータを読み取る時に必要なものです。

市区町村や銀行など民間の窓口において、運転免許証を身分証明書として活用する場合に、暗証番号の入力が必要な場合があります。

暗証番号を忘れないよう、運転免許証交付時にお渡しした暗証番号の記録紙を大切に保管してください。

○**暗証番号を忘れた場合、警察に照会できます。**

運転免許証の暗証番号を忘れた場合は、次の場所で**照会**できます。

回答のためには、本人確認が必要となりますので、運転免許証を持参してください。代理は認められません。

・運転免許センター 午前 8 : 3 0 ~ 午後 4 : 0 0 （土曜日、祝日、振替休日、年末年始の休日を除く）

・警察署 午前 8 : 3 0 ~ 午後 4 : 0 0 （土曜日、日曜日、祝日、振替休日、年末年始の休日を除く）

○**暗証番号の入力を 3 回続けて間違えるとデータを読み出すことができなくなります。（暗証番号の閉塞といいます）**

暗証番号の入力を 2 回続けて間違えた場合で、暗証番号を忘れた場合は、警察に照会しましょう。

正しい暗証番号を入力すれば、閉塞の条件がクリアされますので、照会の時に、出向いた警察施設において、来場者用の読み取り装置がある場合は、正しい暗証番号を入力してください。

また、暗証番号を 3 回続けて間違え、データが読み出せなくなった場合は、次の場所で**解除**できます。

解除を申請する場合は、本人確認が必要となりますので、運転免許証を持参してください。代理は認められません。

・運転免許センター 午前 8 : 3 0 ~ 午後 4 : 0 0 （土曜日、祝日、振替休日、年末年始の休日を除く）

・警察署 午前 8 : 3 0 ~ 午後 4 : 0 0 （土曜日、日曜日、祝日、振替休日、年末年始の休日を除く）

お問い合わせ先

運転免許センター TEL 018-824-3738

または最寄りの警察署（免許受付）まで